

AXIS 2420 ネットワークカメラ ユーザーズマニュアル

補足資料

2003 年 4 月発行 第 1 版



アクシスコミュニケーションズ株式会社

R1.0

クイックリファレンス

Installation Wizard 5

Welcome Page 5	》 ウェルカムページ
Security 5	》 ユーザの追加と削除 パスワードの設定 アクセス権の設定
Date and Time 6	》 日付と時刻の設定
Image Settings 7	》 画像の表示方法の設定 静止画像、ライブ画像の切り替え 画像サイズの選択 圧縮率、輝度、ホワイトバランスの設定 画像上部に表示する情報の設定
Focus 7	》 フォーカスアシスタント
Modem or Network 8	》 接続する対象の選択
Network TCP/IP 8	》 ネットワークの各種設定 ネットワークカメラの IP アドレスの設定
Modem Settings 9	》 モデムの各種設定
Audio 9	》 AXIS 2191 の有効・無効を選択
Audio Mode 10	》 音声モードの設定
Installation Wizard - Finish 11	

Application Wizard 12

Welcome Page 12	》 ウェルカムページ
Motion Detection 12	》 モーション検知の設定
Continuous Uploading or Alarm 13	》 画像を撮影する方法の選択 連続して画像をアップロード
Taking Pictures Continuously 13	
Taking Pictures 14	
Alarm Pictures 15	アラームが発生した時に画像をアップロード
Upload 16	》 画像をアップロードする方法の選択
ISP 17	》 プロバイダの各種設定
FTP 18	》 FTP サーバの各種設定
SMTP 19	》 SMTP メールサーバの各種設定
Alarm Buffer 19	》 アラーム発生前後の画像を撮影する条件の指定
Application Wizard - Finished 20	

Administration Tools	21
Image - General 21	》画像の表示方法の設定
Image - Advanced 23	》DC アイリスの設定
Image - Focus 24	》フォーカスアシスタントの有効 / 無効切り替え
Network - TCP/IP 24	》ネットワークの設定
Network - SMTP 25	》SMTP メールサーバの設定
Network - Notification 25	》IP アドレスの変更通知の設定
System - Date and Time 26	》日付と時刻の設定
System - Users 27	》ユーザの各種設定
External devices - Selection 28	》外部デバイス (AXIS 2191、モデム) の選択
External devices - Audio 28	》AXIS 2191 の設定
External devices - PTZ 28	
Modem - General 28	》モデムの設定
Modem - Advanced 29	
Modem - ISP 29	》プロバイダの設定
Operation - Selection 30	》動作モードの選択
Sequential Operation - Scheduler 30	連続して画像をアップロードする
Alarm Operation - Scheduler 31	アラーム発生時に画像を撮影する
Sequential Operation - Upload 32	》連続して画像をアップロードする場合
	アップロード方法などの設定
Alarm Operation - Upload 34	》アラーム発生時に画像を撮影する場合
	アップロード方法などの設定
Operation - Enable 35	》動作モードの切り替え
Applications - Motion detection 35	》モーション検知の設定
Layout - General 36	》ネットワークカメラのホームページのレイアウト変更
Installation 37	》Installation Wizard を起動
Application 37	》Application Wizard を起動
Support - General 37	
Support - Release Notes 37	》リリースノートを表示
Support - Parameters 37	》パラメータリストの表示
Support - Log File 37	》ログファイルの表示
Support - Restart/Reset 37	》ネットワークカメラの再起動
Support - About 37	
Help 37	
Live View 37	》ネットワークカメラのホームページを表示

Installation Wizard

Welcome Page

AXIS 2420 のホームページを開きます。画面の左側にある [Installation Wizard] リンクをクリックすると、まずウェルカムページが表示されます。ウィザードを開始するには、[Start >] ボタンをクリックします。

ウィザードを中止 次ページへ

ヒント ページ間を移動するボタンは、各ページの右下に表示されます。画面の設定によっては、Web ブラウザのスクロールバーを使用してボタンを表示する必要があります。

Security

Installation Wizard - Security

To prevent any unauthorized use of the product, the AXIS 2420 supports multilevel password protection, where access is strictly restricted to defined users only. Determine the registration, and access rights for all normal users using the controls below:

Users

root:ADVO	<input type="button" value="Delete"/>
-----------	---------------------------------------

New User

Name:

Password:

Verify:

User Rights: Admin Dial-in View

Users

登録されたユーザ名を、「ユーザ名:アクセス権の種類」の形式で表示します。

ユーザを削除する場合は、登録されたユーザ名を選択して、右側の [Delete] ボタンをクリックします。

New User

ユーザの追加および変更を行います。以下の情報を入力し、[Add/Change] ボタンをクリックします。

Name: ユーザ名

Password: パスワード

Verify: パスワードの再確認

User Rights: アクセス権の設定

AAdmin: すべての設定および変更が可

DDial-in: モデム経由での接続のみ可

VView: 画像の閲覧のみ可

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

注意!

- root ユーザは削除することはできません。
- ユーザ名は半角英字 14 文字以内、パスワードは半角英字 8 文字以内で設定してください。
- ユーザは、root を含め 20 件まで登録できます。
- 各種設定ページへのアクセスを制限するには、root ユーザのデフォルトパスワード (pass) を変更してください。

Date and Time

Current Date and Time

現在の日付と時刻を表示します。

New Camera Time

日付と時刻を設定する方法を選択します。

[Set Now] ボタンをクリックすると、時刻が設定されます。

Time Zone:

ネットワークカメラを利用している地域を選択する

Automatically adjust for Daylight saving time changes:

サマータイムの調整を自動的に行う

Synchronize with computer time:

コンピュータの時間に合わせる

Synchronize with NTP server:

NTP サーバの時間に、分毎に同期。同期する NTP サーバの IP アドレスを指定

Set manually:

手動で時間を合わせる

Cancel

ウィザードを中止

< Back

前ページへ

Next >

次ページへ

ヒント

[Set Now] ボタンをクリックせずに次ページへ移動すると、時刻設定を行わずに先に進むかどうか、確認のダイアログボックスが表示されます。設定を行わない場合は、[OK] をクリックしてください。

Image Settings



Installation Wizard - Image Settings

Using the drop-down dialog boxes and radio buttons, define the following visual attributes for your pictures.

Appearance

Images: Single Motion

Resolution: 352x240 (~13 kb)

Tuning

Compression: Low (~13 kb)

Brightness: 9 [0..15]

White Balance: Automatic Normal

Color Level: 5 [0..15]

Heading

Text:

Date: No Yes

Time: No 24h 12h

Appearance

画像の表示方法を設定します。

Images: Single(静止画像)または Motion(ライブ画像) から選択

Resolution: 画像のサイズ(単位: ピクセル)を選択

Tuning

画質の調整を行います。

Compression: 画像の圧縮率を、Very High(最高)、High(高)、Medium(中)、Low(低)、Lowest(最低)から選択

Brightness: 輝度を設定

White Balance: 使用環境に合わせ、ホワイトバランスを指定

Color Level: 画像に使用する、色調のレベルを(α 白黒)~ 15 (最大)の間で設定

Heading

画像の上部に、以下の情報を表示します。

Text: 表示したいテキストをテキストボックスに入力

Date: 日付の表示 / 非表示を設定

Time: 時間の表示 / 非表示、時間の表示形式を設定

-
- 注意!**
- Text には、15 文字までの半角英数字を入力することができます。
 - Heading の情報も画像圧縮の対象となります。高い圧縮率を選択すると、Heading の判読が難しくなります。
-

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

Focus



Installation Wizard - Focus

The **Focus Assistant** is an interactive diagnostic tool for adjusting the focus of the AXIS 2420. Used in conjunction with the **Status Indicator**, you enable the Focus Assistant to provide both an on-board visual indicator, and a large desktop image display to help you focus the product.

Enable/Disable the Focus Assistant using the buttons below:

Focus Assistant

フォーカスアシスタントを使用して、ピントの状態を確認します。

フォーカスアシスタントを有効にする場合は、画面左下の [Enable] ボタンを一度だけクリックします。ピントを合わせた後は必ず [Disable] ボタンをクリック押してフォーカスアシスタントを無効にしてください。

[Enable/Disable] ボタンの上に、現在のフォーカスアシスタントの状態 (有効 / 無効) が表示されます。

「Assistant enabled」と表示されている場合は、フォーカスアシスタントが有効になっています。

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

Modem or Network



Modem or Network

ネットワークカメラの接続先を選択します。

An Ethernet network: ネットワークカメラをイーサネットネットワークに接続する

A modem: ネットワークカメラをモデムに接続する

An Ethernet network を選択した場合

[Network TCP/IP](#)へ進む

A modem を選択した場合

[Modem Settings](#)へ進む

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

ヒント 別売りの AXIS 2191 を接続する場合は、An Ethernet network を選択します。

Network TCP/IP



Manually

Internet Address:

ネットワークカメラの IP アドレスを指定

Subnet Mask:

ネットワークのサブネットマスクを指定

Default Router:

デフォルトゲートウェイを指定

Host Name:

ネットワークカメラのホスト名

DNS

Domain Name:

ネットワークカメラの属するドメイン名

Primary DNS Server:

プライマリ DNS サーバを指定

Secondary DNS Server:

セカンダリ DNS サーバを指定

Miscellaneous

Max. Bandwidth usage:

ネットワークで、ネットワークカメラが使用できる帯域幅を選択肢の中から指定

[Audio](#)へ進む

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

注意! このページの設定項目については、ネットワーク管理者に相談して適切な値または文字列を設定するようにしてください。

Modem Settings

Use modem to dial out and upload images

モデムを使用して画像のアップロードを行います。

Disable incoming calls

外からの呼び出しに対する応答を無効にします。

Modem Type

Modem:

リストボックスの一覧から、使用するモデムを選択

Init String:

モデムの初期化時に使用する AT コマンドを指定。
[Default] をクリックすると、デフォルトの値を表示

Communications Settings

Baudrate: モデムに合わせて速度(ボーレート)を指定

Flowcontrol: フロー制御の方法を選択

Callback

Enable Callback: コールバックを有効にする

Initiate After: コールバックが実行される前に何回呼び出しを行うか設定

Disconnect After: 指定した時間後にコールバックを切断

[Installation Wizard - Finish](#) へ進む

ウィザードを中止
 前ページへ
 次ページへ

ヒント モデムの一覧にご使用になっているモデムが含まれていない場合は、[Generic Modem] を選択してください。ほとんどのモデムは適切な設定を行うことで動作しますが、AXIS 2420 は以下のモデムに合わせて最適化されています。

- US Robotics Sportster Flash
- 3Com 56k Faxmodem v.90
- Ericsson K56 DTV (V.90)
- Diamond Supra Express 56e PRO

Audio

Audio Module

別売りの AXIS 2191 をネットワークカメラに接続し、画像とともに音声の送受信を行う場合は、Yes を選択します。

Yes を選択した場合

[Audio Mode](#) へ進む

No を選択した場合

[Installation Wizard - Finish](#) へ進む

ウィザードを中止
 前ページへ
 次ページへ

Audio Mode



Audio Mode

AXIS 2420 に接続されている AXIS 2191 を利用して、どのモードで音声の送受信を行うか選択します。

Full Duplex:

最初に AXIS 2420 のホームページにアクセスしたコンピュータ(ユーザ)が、AXIS 2191 を利用しているユーザと音声の送受信を行う。2 番目以降に AXIS 2420 のホームページにアクセスしたコンピュータは、AXIS 2191 からの音声のみが聞こえる。

Half Duplex:

AXIS 2420 のホームページにアクセスしているコンピュータ(ユーザ)が、AXIS 2191 を利用しているユーザと交互に音声の送受信を行う。

Half-duplex を選択した場合へ進む

Simplex - Talk:

AXIS 2420 のホームページにアクセスしているコンピュータ(ユーザ)が、AXIS 2191 を利用しているユーザに対して音声の送信のみを行う。

Simplex - Talk を選択した場合へ進む

Simplex - Listen:

AXIS 2420 のホームページにアクセスしているコンピュータ(ユーザ)は、AXIS 2191 を利用しているユーザからの音声のみを受信する。

Clients

AXIS 2191(および AXIS 2420)に同時にアクセス可能なユーザ数を設定します。最大 10 クライアントがアクセス可能です。

ウィザードを中止
 前ページへ
 次ページへ

注意! AXIS 2191 を使用する上での同時アクセスユーザ数の上限は 10 クライアントですが、推奨は 3 ~ 4 クライアントまでです。



Half-duplex を選択した場合

Send

AXIS 2420 のホームページにアクセスしているコンピュータ(ユーザ)の音声を、ホームページにアクセスしている他のコンピュータへ AXIS 2191 を経由して送信(再配信)します。

Push-to-talk

Push-to-talk ボタンの操作方法を選択します。このボタンは、音声モードとして Half Duplex、または Simplex - Talk を選択した時に利用可能です。

Toggle:

ボタンを押すごとに、音声送信の有効・無効が切り替わります。

Instant:

ボタンを押し続けている間、音声を送信することができます。ボタンを放すと、音声は送信されません。

Simplex - Talk を選択した場合

Push-to-talk

Push-to-talk ボタンの操作方法を選択します。このボタンは、音声モードとして Half Duplex、または Simplex - Talk を選択した時に利用可能です。

Toggle:

ボタンを押すごとに、音声送信の有効・無効が切り替わります。

Instant:

ボタンを押し続けている間、音声を送信することができます。ボタンを放すと、音声は送信されません。

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

Installation Wizard - Finish

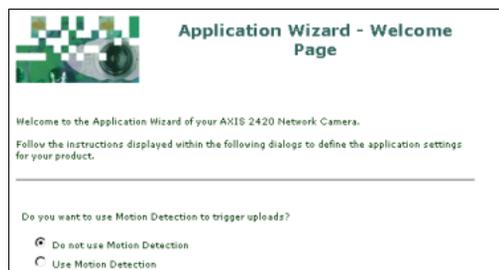
[Finish] ボタンをクリックし、Installation Wizard を終了します。

ウィザードを中止 前ページへ ウィザードを終了

Application Wizard

Welcome Page

AXIS 2420 のホームページを開きます。画面の左側にある [Administration Tools] リンクをクリックします。左側に表示される設定項目の一覧から [Wizards-Application] リンクをクリックすると、ウェルカムページが表示されます。ウィザードを開始するには、[Start>] ボタンをクリックします。[Disable] をクリックすると、ネットワークカメラに対して行った動作モードの設定を無効にすることができます(詳しくは、35 ページ「Operation - Enable」を参照してください)。



Motion Detection

モーション検知の有効/無効を選択します。

Do not use Motion Detection:

モーション検知を実行しない

[Continuous Uploading or Alarm](#)へ進む

Use Motion Detection:

モーション検知を実行する

[Motion Detection](#)へ進む

Cancel

ウィザードを中止

Disable

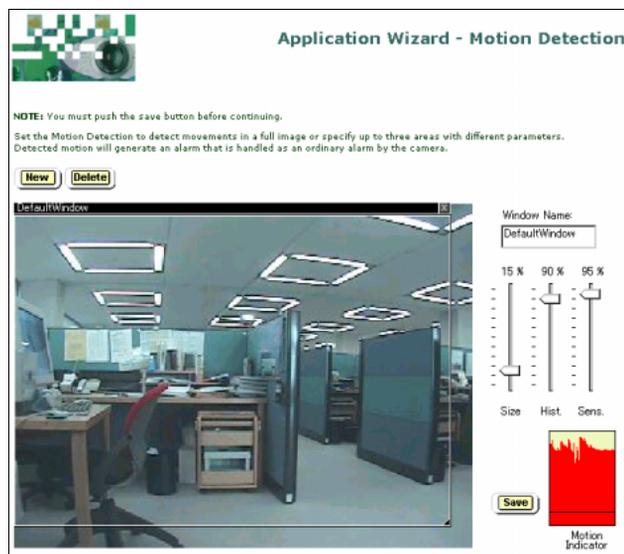
無効にする

Start >

次ページへ

Motion Detection

Application Wizard (12 ページ「Motion Detection」) で **Use Motion Detection** を選択した場合、この画面が表示されます。



Motion Detection

[New] ボタンをクリックして、新しいモーション検知ウィンドウを作成します。検知ウィンドウを削除するには、削除したいウィンドウを選択して [Delete] ボタンをクリックします。

Window Name: モーション検知ウィンドウの名前を指定します。

Profile Slider: モーション検知の動作基準を設定します。

Size. - ウィンドウの大きさに対して検知する対象のサイズを指定

Hist. - 更新の基準となる画像を保持する長さを指定

Sens. - 光に対する感度を指定

Motion Indicator: モーション検知ウィンドウ内で検出された変化(動き)のレベルを、Profile Slider の設定にしたがって表示します。

設定を保存する場合は、[Save] ボタンをクリックします。

Cancel

ウィザードを中止

< Back

前ページへ

Next >

次ページへ

Continuous Uploading or Alarm

Continuously upload pictures:

画像を連続してアップロードする場合に選択

[Taking Pictures Continuously](#)へ進む

Upload pictures only when an alarm event occurs:

アラームイベントが発生した時だけ画像をアップロードする場合に選択

[Alarm Pictures](#)へ進む

[Cancel](#) ウィザードを中止

[< Back](#) 前ページへ

[Next >](#) 次ページへ

Taking Pictures Continuously

Primary Time Enabled

Always:

画像を常に撮影

Restricted between:

曜日、開始時刻、終了時刻を指定した範囲で画像を撮影

Primary Image Frequency

画像を撮影する間隔を選択、指定します。

Every [] tenth(s) of sec: 1/10 秒単位で保存

Every [] second(s): 1 秒単位で保存

Every [] minute(s): 1 分単位で保存

Every [] hour(s): 1 時間単位で保存

Take Pictures

画像を撮影する条件を選択します。

regardless of input: 入力の有無に関係なく撮影

only when input is high: デジタル入力の電圧が上がった時に撮影

only when input is low: デジタル入力の電圧が下がった時に撮影

when motion is detected: モーション検知が動作した時に撮影

[Cancel](#) ウィザードを中止

[< Back](#) 前ページへ

[Next >](#) 次ページへ

注意!

- SMTP を使用した場合の送信間隔は 1 分以上になります。
- モデムを使用した場合の送信間隔は 1 分以上になります

Taking Pictures

Application Wizard - Taking Pictures

In practical applications it is often desirable to increase or decrease the image frequency for specific times during the week: enable a **Secondary Time** window to take images at different frequency to that established for the **Primary Time** window in the previous dialog

Note: The Secondary Time is not programmable, but is exclusively inverse to that specified for the Primary Time; therefore, the image frequency defined here is only active outside of the time period established for Primary Time in the previous dialog.

Secondary Time Enabled

Secondary Image Frequency Take Pictures

Every [] tenth(s) of sec regardless of input
 Every [] second(s) only when input is high
 Every [] minute(s) only when input is low
 Every [] hour(s) when motion is detected

Secondary Time Enabled:

チェックがオンの場合、[Primary Time Enabled]で設定された以外の時間帯に、この画面で指定した間隔で画像を撮影します。

Secondary Image Frequency

画像を撮影する間隔を選択、指定します。

Every [] tenth(s) of sec: 1/10 秒単位で保存

Every [] second(s): 1 秒単位で保存

Every [] minute(s): 1 分単位で保存

Every [] hour(s): 1 時間単位で保存

Take Pictures

画像を撮影する条件を選択します。

regardless of input: 入力の有無に関係なく撮影

only when input is high: デジタル入力の電圧が上がった時に撮影

only when input is low: デジタル入力の電圧が下がった時に撮影

when motion is detected: モーション検知が動作した時に撮影

[Upload](#)へ進む

Cancel

ウィザードを中止

< Back

前ページへ

Next >

次ページへ

-
- 注意!**
- SMTPを使用した場合の送信間隔は1分以上になります。
 - モデムを使用した場合の送信間隔は1分以上になります
-

Alarm Pictures

Application Wizard - Alarm Pictures

Choose whether pictures are taken **Always** or **Restricted Between a Primary Time window** when an alarm event occurs:

Primary Time Enabled

Take pictures unconditionally for every alarm event

Take pictures for validated alarm events during the **Start-Stop** times specified below:

Start: 08 hour 30 min

Stop: 15 hour 45 min

Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun

Enable **Digital Input Alarm Conditioning** during the Primary Time, and optionally trigger alarms when the Digital Input is either:

Rising (0-5V positive-edge)

Falling (5-0V negative-edge)

Trigger alarm when motion is detected in

DefaultWindow Not used Not used

Trigger alarm when motion stops in

DefaultWindow Not used Not used

[Cancel](#) ウィザードを中止

[< Back](#) 前ページへ

[Next >](#) 次ページへ

Application Wizard - Alarm Pictures

Enable the conditioning of alarm events outside of the **Primary Time** window and accordingly establish alarm conditioning for a **Secondary Time** window:

Secondary Time Enabled

Enable **Digital Input Alarm Conditioning** during the Primary Time, and optionally trigger alarms when the Digital Input is either:

Rising (0-5V positive-edge)

Falling (5-0V negative-edge)

Trigger alarm when motion is detected in

DefaultWindow Not used Not used

Trigger alarm when motion stops in

DefaultWindow Not used Not used

[Cancel](#) ウィザードを中止

[< Back](#) 前ページへ

[Next >](#) 次ページへ

Primary Time Enabled:

Take pictures unconditionally for every alarm event:

アラームイベントが発生したら、画像を撮影

Take pictures for validated alarm events during the Start-Stop times specified below:

下欄で指定された時間内に有効なアラームイベントが発生した時に画像を撮影。開始時刻、終了時刻、曜日を指定

Rising (0-5V positive-edge):

デジタル入力の電圧が0Vから5Vに遷移した時、アラームを動作させる

Falling (5-0V negative-edge):

デジタル入力の電圧が5Vから0Vに遷移した時、アラームを動作させる

Trigger alarm when motion is detected in:

指定したモーション検知ウィンドウで変化を検知した時にアラームを発生

Window: デフォルトで作成されるウィンドウ名が表示

Trigger alarm when motion stops in:

指定したモーション検知ウィンドウで変化が止まった時にアラームを発生

Window: デフォルトで作成されるウィンドウ名が表示

Secondary Time Enabled:

チェックがオンの場合[Primary Time Enabled]で設定された以外の時間帯に、この画面で指定した条件で画像を撮影します。

Rising (0-5V positive-edge):

デジタル入力の電圧が0Vから5Vに遷移した時、アラームを動作させる

Falling (5-0V negative-edge):

デジタル入力の電圧が5Vから0Vに遷移した時、アラームを動作させる

Trigger alarm when motion is detected in:

指定したモーション検知ウィンドウで変化を検知した時にアラームを発生

Window: デフォルトで作成されるウィンドウ名が表示

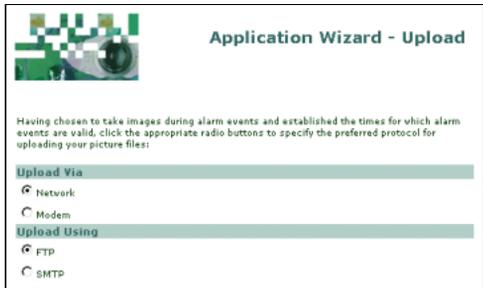
Trigger alarm when motion stops in:

指定したモーション検知ウィンドウで変化が止まった時にアラームを発生

Window: デフォルトで作成されるウィンドウ名が表示

[Upload](#)へ進む

Upload



Application Wizard - Upload

Having chosen to take images during alarm events and established the times for which alarm events are valid, click the appropriate radio buttons to specify the preferred protocol for uploading your picture files:

Upload Via

Network

Modem

Upload Using

FTP

SMTP

Upload Via:、Upload Using:

アラームバッファに保存された画像のアップロード方法、および使用するプロトコルを選択します。

Network - FTP を選択した場合

[FTP](#)へ進む

Network - SMTP を選択した場合

[SMTP](#)へ進む

Modem を選択した場合

[ISP](#)へ進む

Cancel

ウィザードを中止

< Back

前ページへ

Next >

次ページへ

ヒント 別売の AXIS 2191 を接続する場合は、モデムではお使いいただけませんので Network を選択します。

ISP

Select ISP:

ISP (Internet Service Provider) 一覧から、利用する ISP を選択します。

ISP Settings:**Phone Number:**

アクセスポイントの電話番号

User Name:

プロバイダに登録したユーザ名

Password:

プロバイダに登録したパスワード

Connection:

Always open - 常に ISP に接続

Closes after - 指定した時間 (秒) だけ ISP に接続

Optimized - 画像が転送された後、自動的に ISP との接続を切断

Redial Attempts:

ISP への再接続を試みる回数を指定

Redial Interval:

接続に失敗し、リトライするまでの間隔 (秒) を指定

Modem - FTP を選択した場合

[FTP](#)へ進む

Modem - SMTP を選択した場合

[SMTP](#)へ進む

ウィザードを中止 前ページへ 次ページへ

注意! **Closes after** オプションは、指定した時間が経つと画像の転送中でも接続を切断します。

ヒント ISP の一覧にご利用になっている ISP が含まれていない場合は、[Generic] を選択してください。

FTP

Application Wizard - FTP Upload

Specify a **Host Name** or **IP address**, and enter an appropriate **User Name** and **Password** (the secondary is optional) to transfer image files to a chosen FTP server.

Note: Defining your product using a unique IP address is preferable to using a Host Name, as this will avoid unnecessary DNS traffic and is subsequently faster on busy data networks.

Host

	Primary	Secondary
Host Name:	<input type="text"/>	<input type="text"/>
User Name:	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Password:	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Image File

Enter the **Upload Path** and **Base File Name**, specifying either a **Date and Time Suffix** extension or a **Sequence Number Suffix** for the uploaded images:

Size: 352x240 704x480

Upload Path:

Base File Name:

Overwrite

Date/time Suffix

Sequence Number Suffix Up To Default Maximum

Sequence Number Suffix Up To Specified Maximum:

Host

Primary、Secondary

FTP サーバに画像を転送するための設定を行います。

[Secondary]はオプション項目で、[Primary]に設定した FTP サーバに画像を転送できなかった時に使用されます。

Host Name:FTP サーバのホスト名

User Name:FTP サーバにログオンするためのユーザ名

Password:FTP サーバにログオンするためのパスワード

Image File:

Size: 画像のサイズ(ピクセル)を選択

Upload Path: 保存先のパスを入力

Base File Name: 画像に付けるファイル名を指定 (15 文字までの半角英数字を入力することができます。)

注: 以下のオプションは、Continuous Uploading or Alarm で「Upload pictures only when an alarm event occurs」を選択した場合には指定できません。

Overwrite: 画像を上書きして保存

Date/time Suffix: [Base File Name]で指定したファイル名の後ろに、日付、時刻を追加

Sequence Number Suffix Up To Default Maximum:

[Base File Name]で指定したファイル名の後ろに、連番を約 20 億まで追加

Sequence Number Suffix Up To Specified Maximum:

[Base File Name]で指定したファイル名の後ろに、テキストボックスで指定した値まで連番を追加

Continuously upload pictures を選択した場合

[Application Wizard - Finished](#)へ進む

Upload pictures only when an alarm event occurs を選択した場合

[Alarm Buffer](#)へ進む

Cancel

ウィザードを中止

< Back

前ページへ

Next >

次ページへ

SMTP

Mail Server

指定先に画像を添付してメールを送信します。

Primary Mail Server: プライマリ SMTP メールサーバの IP アドレスを入力

Secondary Mail Server: セカンダリ SMTP メールサーバの IP アドレスを入力(オプション)

Mail

To Email: 電子メールアドレスを入力(100文字まで)

From Email: 返信アドレスを入力(100文字まで)

Subject: メールの件名/題名を入力(25文字まで)

Text: メールの本文を入力(100文字まで)

Camera Link: AXIS 2420 へのリンクをメールに追加

Size: 添付する画像のサイズ(ピクセル)を選択

Continuously upload pictures を選択した場合

[Application Wizard - Finished](#)へ進む

Upload pictures only when an alarm event occurs を選択した場合

[Alarm Buffer](#)へ進む

- 注意!**
- 複数の受信者にメールを同時に送信する場合は、To Email に複数のアドレスを入力します。アドレスごとにコンマ(,)で区切って指定してください。
 - Subject および Text には、必ず半角文字を使用してください。

ウィザードを中止
 前ページへ
 次ページへ

Alarm Buffer

Pre Alarm Buffer:

アラームが発生する前の画像を撮影し、ネットワークカメラ内のバッファに保存します。最大99枚まで指定可能です。

Not used: 保存しない

Image every [] tenth(s) of second: 1/10秒単位で保存

Image every [] second(s): 1秒単位で保存

Total number of pre alarm images: 撮影する画像の合計枚数

Post Alarm Buffer:

アラームが発生した後の画像を撮影し、ネットワークカメラ内のバッファに保存します。

Not used: 保存しない

Image every [] tenth(s) of second: 1/10秒単位で保存

Image every [] second(s): 1秒単位で保存

Total number of post alarm images: 撮影する画像の合計枚数

ウィザードを中止
 前ページへ
 次ページへ

Application Wizard - Finished

[Finish] ボタンをクリックし、Application Wizard を終了します。

ウィザードを中止 前ページへ ウィザード終了

Administration Tools

Settings

Image - General

Appearance 画像の表示方法を設定します。

Images: Single - 静止画像を表示します。最新の画像を表示するには、Web ブラウザの [更新] ボタンをクリックします。

Motion - ライブ画像を表示します。

注意! Microsoft Internet Explorer を使用する場合、Axis Camera Control がコンピュータにインストールされている必要があります。Internet Explorer で初めて AXIS 2420 にアクセスした際、AXIS 2420 はコンポーネントの確認を行います。インストールを実行するようメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックしてインストールを行ってください。その際、ブラウザのセキュリティレベルは「低」に設定しておいてください。また、Windows 2000、XP の場合、Administrator (管理者) の権限で OS にログインしている必要があります。

Resolution: 表示する画像のサイズを指定します。

352x240 - 352 × 240 ピクセルの画像を表示します。被写体によって画像のファイルサイズが変化します。

704x480 - 704 × 480 ピクセルの画像を表示します。被写体によって画像のファイルサイズが変化します。

注意! 画質は使用しているディスプレイによって異なります。ご使用のディスプレイの解像度が低く設定されている場合、AXIS 2420 のウェルカムページや Administration Tools の左側のリンクボタンが欠けて表示されることがあります。ディスプレイの解像度は、最低でも 800 × 600 ピクセル以上に設定することをお勧めします。

Tuning 画質を設定します。

Compression: 画像の圧縮率を指定します。高い圧縮率を選択するとファイルサイズは小さくなりますが、画質が低下します。低い圧縮率を選択するとファイルサイズは大きくなりますが、画質が向上します。

例として、右図のような画像 (カラーで撮影した場合) のファイルサイズを表に示します。

* 被写体から約 30cm 離れたところから、30W の照明を当てています。



解像度	ファイルサイズ (KB)				
	最低 (Lowest)	低 (Low)	中 (Medium)	高 (High)	最高 (Very High)
704 x 480	300	50	32	16	12
352 x 240	75	13	8	4	3

Brightness: 画像の輝度を 0 ~ 15 の間で設定します。輝度が低いと画像は暗くなり、高いと画像は明るくなります。デフォルト設定では、8 が選択されています。

White Balance: AXIS 2420 はホワイトバランスを調整する機能を備えています。被写体の中から最も白い部分を自動で検出し、色調整の基準とします。

Automatic Normal - 適切な色範囲を利用して画像内の白の基準となるエリアを自動的に検出し、他の色調整を行います。人工の白色光、自然光などを含む環境で自然な色合いを再現します。

Automatic Narrow - 限られた色範囲を利用して画像内の白の基準となるエリアを検出し、他の色調整を行います。適切な白のエリアが識別できなかった場合は、自動色調整機能はオフになります。

Automatic Wide - 色範囲の制限なしで画像内の白の基準となるエリアを検出し、他の色調整を行います。ほとんどの環境で自然な色合いを再現します。

注意! 白をまったく含まない画像の場合、他の色が白として識別されます。例えば、赤色の被写体が画面全体を占める場合、画像はグレーで表示されます。

Automatic Fast - Automatic Wide と同じ機能です。ただし、Automatic Wide よりも調整にかかる時間が短くなります。

Indoor Light Bulbs - 固定色調整。白熱電球（色温度 3200K）を使用した、通常の明るさの室内に適しています。

Indoor Fluorescent 1 - 固定色調整。蛍光灯（色温度 4200K）の下で使用するのに適しています。

Indoor Fluorescent 2 - 固定色調整。蛍光灯（色温度 4700K）の下で使用するのに適しています。

Outdoor - 固定色調整。日光（色温度 6300K）の下で使用するのに適しています。

注意! 一般的に、白を全く含まない被写体や白以外の色が全体を占める被写体に対しては、ホワイトバランスが正常に機能しないことがあります。このような環境でネットワークカメラを使用する場合は、固定色調整のモードを選択してホワイトバランスの調整を行ってください。

Color Level: 色調を 0 ~ 15 の間で指定します。0 を指定すると、画像は白黒で表示されます。「15」を指定すると、最も豊かな色調で画像が表示されます。

注意! 利用できる帯域幅や、ネットワークで画像を配信する際の負荷を考慮して色調の設定を行ってください。

Heading 画像の上部にテキストや日付などの情報を表示します。

Text: 表示したいテキストを入力します。

Date: 日付の表示 / 非表示を選択します。

Time: 時刻の表示 / 非表示を選択します。24 時間形式で表示するには 24h を、AM/PM 形式で表示するには 12h を選択します。

注意!

- Text には、必ず半角文字を入力してください（15 文字まで）。
- Heading の情報も画像圧縮の対象となります。高い圧縮率を選択すると、Heading の判読が難しくなります。

Front LED flashes on image display

Flashing Enabled: このオプションを Yes に設定すると、クライアントが Web ブラウザ上で画像を表示している時にステータスインディケータが点滅します。

Flashing Frequency: ステータスインディケータの点滅する間隔を指定します。

Default viewer for Internet Explorer

Viewer: Microsoft Internet Explorer を使用している場合、画像を表示する方法を ActiveX または Java Applet から選択することができます。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Image - Advanced

Appearance 画像の表示方法を設定します。

Sharpness: 画像内の明暗の境界などをどの程度鮮明にするか、0 ~ 255 の間で指定します。高い値を指定するとより鮮明な画像が得られますが、ファイルサイズも大きくなります。

DC Iris 使用するレンズにあった設定を行います。

Exposure Control: DC-Iris -AXIS 2420 には標準で DC-Iris レンズが付属しています。DC-Iris レンズを使用すると、露出、シャッタースピード、ゲイン、ALC レベルを手動で設定することができます。

non DC-Iris Manual -DC-Iris 以外のレンズを使用するときに選択します。シャッタースピード、およびゲインを手動で設定することができます。

non DC-Iris Shutter -DC-Iris 以外のレンズを使用するときに選択します。シャッタースピードを手動で設定することができます。

non DC-Iris Auto -DC-Iris 以外のレンズを使用するときに選択します。シャッタースピード、およびゲインを自動で設定することができます。

Shutter Speed: シャッタースピードを 1/60 ~ 1/10000 の選択肢の中から選択します。

Gain: ゲインを 10dB、16dB、22dB、28dB から選択します。

ALC Level: ALC レベルを 0 ~ 3 から選択します。

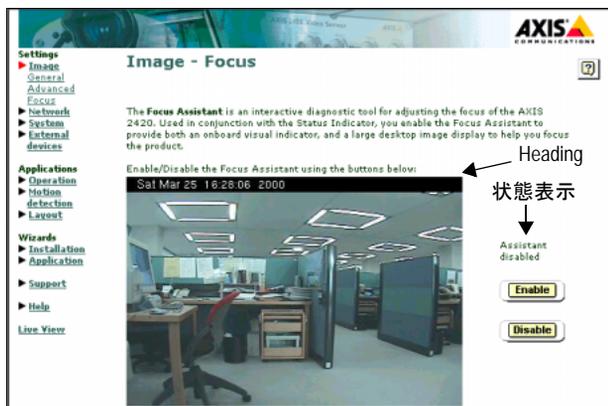
注意! 以下のような条件のもとでネットワークカメラを直射日光に当てて使用した場合、CCD を損傷する恐れがあります。

- DC タイプ以外のレンズを使用
 - [Image - Advanced] - [Exposure Control] で、**DC-Iris** 以外のパラメータを選択
-
-

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Image - Focus

Heading: [Image-General] ページの [Heading] 欄で設定した情報が表示されます。



状態表示 Assistant enabled - フォーカスアシスタントが有効

Assistant disabled - フォーカスアシスタントが無効

注意! フォーカスアシスタントを有効にする場合は、[Enable] ボタンを一度だけクリックします。ピントを合わせた後は必ず [Disable] ボタンをクリック押してフォーカスアシスタントを無効にしてください。

[Enable] ボタン フォーカスアシスタントを有効にする。

[Disable] ボタン フォーカスアシスタントを無効にする。

Network - TCP/IP

Set IP Address Automatically

Enable BOOTP UNIX 環境で BOOTP デーモンが動作している場合、デーモンは AXIS 2420 の物理アドレスと一致するエントリを検索します。一致するエントリが見つかった場合、AXIS 2420 に対応する IP アドレスを自動的に設定します。

Enable DHCP DHCP 機能を有効にします。

注意! BOOTP と DHCP のオプションを同時に有効にすることはできません。

Set IP Address Manually

IP Address: ネットワークカメラに、未使用の IP アドレスを割り当てます。

Subnet Mask: サブネットマスクを指定します。

Default Router: デフォルトルータを指定します。

Host Name: ネットワークカメラに、適切なホスト名を指定します。

DNS

Domain Name: ネットワークカメラの属するドメイン名を指定します。

Primary DNS Server: プライマリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。

Secondary DNS Server: セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを指定します。

注意! モデム経由で画像のアップロードを行う場合、DNS の設定をしないでください。

Miscellaneous

- Select Media: ネットワークカメラが使用するネットワークメディアスピードと全二重か半二重かを設定します。デフォルトでは、適切なネットワークスピードと全二重か半二重かを自動的に選択する Auto-negotiate が選択されています。
- Max Bandwidth: ネットワーク上で、ネットワークカメラが使用できる画像の帯域幅を指定します。画像の配信に全く制限を設けない場合は、Unlimited を選択します。
- HTTP Port Number: ネットワークカメラが受信する HTTP プロトコルのポート番号を指定します。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

注意! このページの設定項目については、ネットワーク管理者に相談して適切な値または文字列を設定するようにしてください。

Network - SMTP

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol) は、ネットワーク上のメールサーバに電子メールを送信するのに使用するプロトコルです。指定したメールアドレスに、画像を添付してメールを送信することができます。

Primary Mail Server: プライマリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。

注意! プライマリサーバが利用できない場合、電子メールの送信要求はセカンダリサーバに送られます。

Secondary Server: セカンダリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。プライマリサーバが使用できない場合に備え、追加で設定することができます。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Network - Notification

DHCP や PPP によって予期せずネットワークカメラの IP アドレスが変更されてしまった場合に、その変更情報を通知することができます。

HTTP HTTP GET リクエストを指定した URL に送信し、リクエストを受け取ったサーバ側に用意された CGI スクリプトによって情報を処理します。

HTTP: HTTP による通知機能の有効 / 無効を切り替えます。

URL: 情報を処理する CGI スクリプトへの URL を指定します。

Custom Parameters: オプションパラメータです。ここには URL エンコード化された文字列を入力します。文字列の最初には、& をつける必要があります。

User Name: CGI スクリプトがパスワードで保護されている場合、ユーザ名を指定します。

Password: CGI スクリプトがパスワードで保護されている場合、パスワードを指定します。

Proxy: URL に記述されているホストに接続する際にプロキシサーバを経由する場合は、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。

Port: プロキシサーバが利用するポート番号を入力します。

Proxy User: プロキシサーバへの接続にユーザ名が必要な場合は、ユーザ名を指定します。

Pass: プロキシサーバへの接続にパスワードが必要な場合は、パスワードを指定します。

注意! Axis ではこの機能に関するアプリケーションの提供を行っておりません。

SMTP 変更情報を電子メールで送信します。

SMTP: SMTP による通知機能の有効 / 無効を切り替えます。

Recipient: 変更情報を受け取るユーザの電子メールアドレスを入力します。

From: 変更情報を含む電子メールの送信者として指定するメールアドレスを入力します。

Msg Subject: 電子メールの件名として表示されるテキストを入力します。

注意! 半角文字、50文字以内で指定してください。

FTP 変更情報を FTP を経由して受信します。

FTP: FTP による通知機能の有効 / 無効を切り替えます。

Host name: 利用する FTP サーバの IP アドレス、またはホスト名を入力します。

Upload path: 利用する FTP サーバの保存先へのパスを入力します。

Username: FTP サーバにログオンする際のユーザ名を入力します。

Password: FTP サーバにログオンする際のパスワードを入力します。

Passive mode: このオプションをオンにすると、ネットワークカメラはターゲットの FTP サーバに対して PASV コマンドを送信し、Passive モードによる接続を確立します。このモードはネットワークカメラと FTP サーバの間にファイアウォールが存在する場合などに使用してください。

TXT Type: 変更情報ファイルを FTP を利用して転送する場合、ファイルに含まれる情報を以下の 3 種類から選択することができます。

Short - 変更された IP アドレス情報 1 行だけを含む。

Extended - IP アドレス情報以外も含む、複数行からなるテキストファイル。

Extended HTML - 含まれる情報の内容は Extended と同じ、ただし HTML タグが追加される。

TEXT

TXT Field: 変更情報に含めるテキストを入力します。

注意! 半角文字、200文字以内で指定してください。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

System - Date and Time

Current Camera Time

Date - 現在の日付を表示します。

Time - 現在の時刻を表示します。

New Camera Time

Time Zone: 基準となるタイムゾーンをリストから選択します。

Automatically adjust for Daylight saving time changes - サマータイムの調整を自動的に行います。

Time Mode: 日付と時間を合わせる方法を選択します。

Synchronize with computer time コンピュータの時刻と、ネットワークカメラの時刻表示を同期します。

Date - 現在の日付を表示します。

Time - 現在の時刻を表示します。

- Synchronize with NTP server NTP (Network Time Protocol) サーバの時刻と、ネットワークカメラの時刻を同期します。
- Set manually 手動で時刻を合わせます。
- Date - 手動で日付を合わせます。日付は 2000-01-01、西暦 - 月 - 日の形式で入力してください。
- Time - 手動で時刻を合わせます。時刻は 10:00:00、時:分:秒の形式で入力してください。
- [Save] ボタン** [Save] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

System - Users

- Users** 登録されたユーザ名のリストが表示されます (最大 20 件まで)。
- [Delete] ボタン** ユーザを削除します。[Users] からユーザ名を選択し、[Delete] ボタンをクリックします。
- New User** ユーザの追加、または登録内容の変更を行います。ユーザ名は、半角文字 14 文字以内で設定します。
- Name: **ユーザの追加** - ユーザ名を入力します。[Password] [Verify] および [User Rights] を設定し、[Add/Change] ボタンをクリックします。
- 登録内容の変更** - 登録内容を変更したいユーザ名を[Users]から選択します。[Name] [User Rights] に既存の設定内容が表示されます。必要に応じて変更を行い、[Add/Change] ボタンをクリックします。
- Password: パスワードを入力します。パスワードは、半角文字 8 文字以内で設定します。
- Verify: パスワードを再度入力し、パスワードの確認を行います。
- User Rights: ネットワークカメラに対する、ユーザのアクセス権を設定します。
- Admin - ユーザの登録や変更、Administration Tools に含まれる各種設定のすべてを行うことができます。
- Dial-in - モデムを経由して、ネットワークカメラにアクセスできます。
- View - ネットワークカメラの画像を見ることができます。
- [Save] ボタン** [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

重要! AXIS 2420 はデフォルトで匿名ユーザアクセスをサポートするため、イントラネットまたはインターネット上のユーザが Web ブラウザを利用して自由に画像にアクセスできるようになっています。このようなオープンなアクセスを制限するには、[System-Users] ウィンドウで View 権限を持つユーザを 1 名登録してください。匿名ユーザアクセスが無効になります。また、Administration Tools へのアクセスを制限するには、root 用のパスワードを変更してください。

External devices - Selection

COM-Port RS232 Operation Mode

- Axis 2191 Audio Module: AXIS 2191 を接続する場合に選択します。
- PTZ or other external device: このオプションは日本ではサポートしていません。
- Modem: モデムを接続する場合に選択します。
- None: 外部デバイスを接続しない場合に選択します。

COM-Port RS485 Operation Mode

このオプションは日本ではサポートしておりません。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

External devices - Audio

Audio Mode AXIS 2191 に対して、どのように音声の送受信を行うかを選択します。

- Full-duplex: 双方向で音声の送受信を行います。
- Half-duplex: 交互に音声の送受信を行います。
- Simplex - Talk: AXIS 2191 に対して音声の送信だけを行います。
- Simplex - Listen: AXIS 2191 からの音声だけを受信します。

Clients

Max number of clients: AXIS 2191 に同時にアクセスできるクライアント数を指定します。最大 10 クライアントまで同時アクセスが可能です。

Send あるクライアントから送信された音声を、他のクライアントに再配信します。このオプションは、Half-duplex を選択した場合に利用することができます。

Push-to-talk Half-duplex、および Simplex-Talk モードを選択した時に利用することができます。

- Toggle: ボタンをクリックするごとに、音声送信の有効 / 無効が切り替わります。
- Instant: ボタンを押し続けている間、音声送信が可能です。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

External devices - PTZ

このオプションは日本ではサポートしておりません。

Modem - General

Disable incoming calls: 外からの呼び出しに対する応答を無効にします。

Modem Type 使用するモデムの種類を選択します。

Modem: 使用するモデムがリストに含まれていない場合は Generic Modem を選択します。

Initstring: ダイヤルアップ接続の開始時に、接続されたモデムを初期化するために送信する AT コマンドを指定します。[Default] ボタンをクリックすると、デフォルトの値を表示します。

Communication Settings

- Baud Rate: ボーレートを選択します。画像転送中に回線の状態が低下した場合、AXIS 2420 は設定値よりも低い転送速度に調節します。
- Flow Control: CTS (Control to Send) / RTS (Return to Send) の有効および無効を設定し、ネットワークカメラと接続されたモデムを同期します。

Callback [External devices - ISP] ページで設定した ISP にコールバックを行います。
 Enable Callback: コールバックの有効 / 無効を切り替えます。

注意! このオプションを選択すると、Disable incoming calls オプションがオフに設定されます。

Initiate After: 何回呼び出しを行ってからコールバックを実行するか設定します。
 Disconnect After: 指定した時間が経過すると、自動的に接続を切断します。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Modem - Advanced

このオプションは日本ではサポートしていません。

Modem - ISP

Select ISP: 利用する ISP をリストから選択します。
ISP Settings ISP に接続するための情報を入力します。
 Phone Number: ISP のアクセスポイントの電話番号を入力します。
 User Name: ISP に登録したユーザ名を入力します。
 Password: ISP に登録したパスワードを入力します。
 Connection: 接続の種類を選択します。Closes after を選択した場合は、テキストボックスに時間を指定します。
 Always Open - 接続が常に保たれています。高速で安定した接続を確立できる場合に使用してください。
 Closes after - 画像が正常に転送された後、指定した時間(秒単位)だけ接続を保ちます。
 Optimized - 画像が正常に転送された後、すぐに接続を切断します。
 Redial Attempts: タイムアウト (接続の中止) が発生する前に、モデムまたは ISP にネットワークカメラが何回ダイヤルアップを試行するか設定します。
 Redial Interval: 接続の再試行を行う間隔 (秒単位) を設定します。
[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存してください。

Applications

Operation - Selection

ネットワークカメラの動作モードを選択します。

Sequential Mode 対象のサーバに、指定した間隔で連続して画像をアップロードします。また一定の時間内だけ、連続して画像をアップロードすることもできます。

Alarm Mode アラームイベントが発生した時に、ネットワークカメラのバッファ内に保存されている画像をアップロードします。電子メールに画像を添付して送信することもできます。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Sequential Operation - Scheduler

画像を撮影する時間帯、頻度のスケジュールを設定します。

重要! [Sequential Operation-Scheduler] ページで設定された内容は、[Save] ボタンをクリックするとネットワークカメラのメモリに保存されます。Scheduler を動作させるには、[Operation-Selection] ページで [Sequential Mode] を選択してください。

Primary Time

Primary Time Enabled Always - 一定の間隔で画像を撮影します。

Restricted between - 以下に指定した時間帯だけ、画像を撮影します。

Start - 開始時間を設定 hour: 時間 min: 分

Stop - 終了時間を設定 hour: 時間 min: 分

Mon_Tue_Wed_Thu_Fri_Sat_Sun - 画像を撮影する曜日を指定します。

Primary Image Frequency ネットワークカメラ内に画像を保存する頻度を指定します。

Every [] tenth(s) of sec - 1/10 秒単位で保存します。

Every [] second(s) - 1 秒単位で保存します。

Every [] minute(s) - 1 分単位で保存します。

Every [] hour(s) - 1 時間単位で保存します。

注意!

- SMTP を使用した場合の送信時間は 1 分以上になります。
- モデムを使用した場合の送信間隔は 1 分以上になります

Take Pictures デジタル入力がいずれかの条件を満たした時に画像を撮影します。

regardless of input - デジタル入力の有無に関わらず画像を撮影

only when input is high - デジタル入力の電圧が上がった時に画像を撮影

only when input is low - デジタル入力の電圧が下がった時に画像を撮影

when motion is detected - モーション検知が行われた時に画像を撮影

重要! [Primary Time] の [Primary Image Frequency] で設定された時間の前にここで指定した条件が満たされているときだけ画像が撮影されます。

Secondary Time

Secondary Time Enabled	このチェックボックスをオンにすると、[Primary Time] で設定した以外の時間帯に、以下の条件で画像を撮影します。
Secondary Image Frequency	ネットワークカメラ内に画像を保存する頻度を指定します。 Every []tenth(s) of sec - 1/10 秒単位で保存 Every []second(s) - 1 秒単位で保存 Every []minute(s) - 1 分単位で保存 Every []hour(s) - 1 時間単位で保存

注意! • SMTP を使用した場合の送信時間は 1 分以上になります。
 • モデムを使用した場合の送信間隔は 1 分以上になります

Take Pictures	デジタル入力がいずれかの条件を満たした時に画像を撮影します。 regardless of input - デジタル入力の有無に関わらず画像を撮影 only when input is high - デジタル入力の電圧が上がった時に画像を撮影 only when input is low - デジタル入力の電圧が下がった時に画像を撮影 when motion is detected - モーション検知が行われた時に画像を撮影
---------------	---

重要! [Secondary Time] の [Secondary Image Frequency] で設定された時間の前にここで指定した条件が満たされている時だけ画像が撮影されます。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Alarm Operation - Scheduler

アラーム画像を撮影する時間帯、頻度のスケジュールを設定します。

重要! [Alarm Operation-Scheduler] ページで設定された内容は、[Save] ボタンをクリックするとネットワークカメラのメモリに保存されます。Scheduler を動作させるには、[Operation-Selection] ページで [Alarm Mode] を選択しておく必要があります。

Primary Time

Primary Time Enabled	Always - 一定の間隔で画像を撮影します。 Restricted between - 以下に指定した時間帯だけ、画像を撮影します。開始時間と終了時間を設定します。 Start - 開始時間を設定 hour: 時間 min: 分 Stop - 終了時間を設定 hour: 時間 min: 分 Mon_Tue_Wed_Thu_Fri_Sat_Sun - 画像を撮影する曜日を指定します。
Trigger alarm event when	input is rising - このチェックボックスをオンにすると、デジタル入力の電圧が上がった時にアラームイベントを発生させる。 input is falling - このチェックボックスをオンにすると、デジタル入力の電圧が下がった時にアラームイベントを発生させる。 motion starts in - 指定したモーション検知ウィンドウ内で変化が発生した時にアラームイベントを発生させる。 motion stops in - 指定したモーション検知ウィンドウ内の変化が止まった時にアラームイベントを発生させる。

Secondary Time

- Secondary Time Enabled このチェックボックスをオンにすると、[Primary Time]で設定した以外の時間帯に、以下の条件で画像を撮影します。
- Trigger alarm event when
- input is rising - このチェックボックスをオンにすると、デジタル入力の電圧が上がった時にアラームイベントを発生させる。
 - input is falling - このチェックボックスをオンにすると、デジタル入力の電圧が下がった時にアラームイベントを発生させる。
 - motion starts in - 指定したモーション検知ウィンドウ内で変化が発生した時にアラームイベントを発生させる。
 - motion stops in - 指定したモーション検知ウィンドウ内の変化が止まった時にアラームイベントを発生させる。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Sequential Operation - Upload

[Operation-Selection] ページで Sequential Mode を選択し、画像をどのように撮影してネットワークカメラのメモリに保存するか設定したら、最後に画像をアップロードするための設定を行います。

Upload Via

- Network ネットワーク経由で画像をアップロードします。
- Modem モデム経由で画像をアップロードします。

注意! AXIS 2191 使用時はモデムでの接続はできません。

Upload Using

- FTP このオプションを選択すると、指定した FTP サーバに、画像をアップロードします。
- SMTP このオプションを選択すると、指定したメールアドレスに画像を添付した電子メールを送信します。

FTP を選択した場合

- Remote Host** Primary、および Secondary (オプション) を指定します。Secondary は、Primary で指定した FTP サーバに画像が転送できなかった時に利用されます。
- Host Name: 画像を転送する FTP サーバのホスト名、または IP アドレスを指定します。
- User Name: 画像を転送し、保存したい FTP サーバにログオンする時のユーザ名を指定します。
- Password: 画像を保存したい FTP サーバにログオンする時のパスワードを指定します。

Detailed FTP Setting for Advanced User

- Primary、および Secondary (オプション) を指定します。
- Use Passive Mode: 通常、ネットワークカメラは FTP サーバに対してデータコネクションを確立するよう要求します。このチェックボックスをオンにすると、PASV コマンドが FTP サーバに発行され、Passive モードによる接続が確立されます。これにより、ネットワークカメラは対象となる FTP サーバに対し、FTP のコントロールコネクションとデータコネクションを両方とも行うことができます。この機能は、ネットワークカメラと FTP サーバの間にファイアウォールが設置されている場合などに便利です。
- Ftp Port Number: アップロードに使用する FTP のポート番号を指定します。デフォルト値は、「21」です。

Image File

- Size アップロードする画像のサイズを選択します。

- Upload Path 画像をアップロードするフォルダへのパスを入力します。
- Base File Name: 画像に付けるファイル名を入力します。以下から、ファイルの命名方法を選択します。
- Overwrite - 画像は、常に同じファイル名で上書きされます。
- Date/time Suffix: - [Base File Name] で指定されたファイル名に日付と時刻情報を追加して、`ファイル名_年月日_時分秒.jpg` の形式にします。
例: `filename_000101_240000.jpg`
- Sequence Number Suffix Up To Default Maximum - [Base File Name] で指定されたファイル名に、約 20 億までの連番を追加します。
- Sequence Number Suffix Up To Specified Maximum: - [Base File Name] で指定されたファイル名に、連番を追加します。テキストボックスに値を設定すると、設定した値に番号が達した後、ネットワークカメラのイメージバッファをクリアし、さらに番号をリセットして連番を振りなおします。

SMTP を選択した場合

Mail Server

Primary Mail Server: プライマリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。

注意! プライマリサーバが利用できない場合、電子メールの送信要求はセカンダリサーバに送られます。

Secondary Server: セカンダリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。プライマリサーバが使用できない場合に備え、追加で設定することができます。

Mail

To Email: 画像ファイルを添付した電子メールの送信先のアドレス、またはアドレスリストを指定します。

From Email: 画像ファイルを添付した電子メールの、返信先のアドレスを指定します。

Subject: 電子メールの件名 / 題名を入力します。

Text in Mail Body: 電子メールの本文を入力します。

Include Camera Link in Body: このチェックボックスをオンにすると、ネットワークカメラへのリンクをメッセージに含めることができます。

注意!

- 複数の受信者にメールを同時に送信する場合は、**To Email** に複数のアドレスを入力します。アドレスごとにコンマ(,)で区切って指定してください。
- Subject および Text には、必ず半角文字を入力してください。

Image Size: 添付する画像のサイズを選択します。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Alarm Operation - Upload

[Operation-Selection] ページで Alarm Mode を選択し、画像をどのように撮影してネットワークカメラのメモリに保存するか設定したら、最後に画像を送信するための設定を行います。

Upload Via

- Network ネットワーク経由で画像をアップロードします。
Modem モデム経由で画像をアップロードします。

Upload Using

- FTP このオプションを選択すると、指定した FTP サーバに画像をアップロードします。
SMTP このオプションを選択すると、指定したメールアドレスに画像を添付した電子メールを送信します。

Pre-Alarm Buffer

- Not used - プリアラーム画像を送信しない場合、選択します。
Image every [] tenth(s) of second - 1/10 秒単位の間隔で画像を送信します。間隔を数値で指定します。
Image every [] second(s) - 1 秒単位の間隔で画像を送信します。間隔を数値で指定します。
Total number of pre-alarm images - 合計で何枚のプリアラーム画像を送信するか指定します。

Post Alarm Buffer

- Not used - ポストアラーム画像を送信しない場合、選択します。
Image every [] tenth(s) of seconds - 1/10 秒単位の間隔で画像を送信します。間隔を数値で指定します。
Image every [] second(s) - 1 秒単位の間隔で画像を送信します。間隔を数値で指定します。
Total number of post-alarm images - 合計で何枚のポストアラーム画像を送信するか指定します。最後のポストアラーム画像が撮影された後に、指定した枚数のポストアラーム画像が送信されます。

FTP を選択した場合

- Remote Host** Primary、および Secondary (オプション) を指定します。Secondary は、Primary で指定した FTP サーバに画像が転送できなかった時に利用されます。
Host Name 画像を転送する FTP サーバのホスト名、または IP アドレスを指定します。
User Name 画像を転送し、保存したい FTP サーバにログオンする時のユーザ名を指定します。
Password 画像を保存したい FTP サーバにログオンする時のパスワードを指定します。

Detailed FTP Setting for Advanced User

- Primary、および Secondary (オプション) を指定します。
Use Passive Mode 通常、ネットワークカメラは FTP サーバに対してデータコネクションを確立するよう要求します。このチェックボックスをオンにすると、PASV コマンドが FTP サーバに発行され、Passive モードによる接続が確立されます。これにより、ネットワークカメラは対象となる FTP サーバに対し、FTP のコントロールコネクションとデータコネクションを両方とも行うことができます。この機能は、ネットワークカメラと FTP サーバの間にファイアウォールが設置されている場合などに便利です。
Ftp Port Number: アップロードに使用する FTP のポート番号を指定します。デフォルト値は、「21」です。

Image File

- Size アップロードする画像のサイズを選択します。
- Upload Path 画像をアップロードするフォルダへのパスを入力します。対象に FTP を選択した場合に入力してください。
- Base File Name: 画像に付けるファイル名を入力します。以下から、ファイルの命名方法を選択します。

SMTP を選択した場合**Mail Server**

- Primary Mail Server: プライマリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。

注意! プライマリサーバが利用できない場合、電子メールの送信要求はセカンダリサーバに送られます。

- Secondary Server: セカンダリ SMTP メールサーバの IP アドレスを指定します。プライマリサーバが使用できない場合に備え、追加で設定することができます。

Mail

- To Email: 画像ファイルを添付した電子メールの送信先のアドレス、またはアドレスリストを指定します。
- From Email: 画像ファイルを添付した電子メールの、返信先のアドレスを指定します。
- Subject: 電子メールの件名 / 題名を入力します。
- Text in Mail Body: 電子メールの本文を入力します。
- Include Camera Link in Body: このチェックボックスをオンにすると、ネットワークカメラへのリンクをメッセージに含めることができます。

注意! • 複数の受信者にメールを同時に送信する場合は、**To Email** に複数のアドレスを入力します。アドレスごとに (,) で区切って指定してください。
• Subject および Text には、必ず半角文字を入力してください。

- Image size: メールに添付する画像のサイズを選択します。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定を保存します。

Operation - Enable

ネットワークカメラに対して行った動作モードの設定は、このページを利用して有効 / 無効の切り替えを行うことができます。既に行った設定に対して変更を加えた場合は、一度 [Disable] をクリックして動作モードを無効にしてから、[Enable] をクリックして再開ください。[Enable/Disable] ボタンの上に Application is enabled と表示されている場合は、動作モードが有効になっています。

[Enable] ボタン [Application - Operation] を利用して行った動作モードの設定を有効にします。

[Disable] ボタン [Application - Operation] を利用して行った動作モードの設定を無効にします。

Applications - Motion detection

[New] ボタン [New] ボタンをクリックして、新しくモーション検知ウィンドウを作成します。

[Delete] ボタン 検知ウィンドウを削除するには、削除したいウィンドウを選択して [Delete] ボタンをクリックします。

Window Name: 作成したモーション検知ウィンドウの名前を設定します。

Profile Slider: モーション検知の動作基準を設定します。

Size - ウィンドウの大きさに対して検知する対象のサイズを指定。

Hist. - 更新の基準となる画像を保持する長さを指定。

Sens. - 光に対する感度を指定。

Motion Indicator: モーション検知ウィンドウ内で検出された変化（動き）のレベルを、Profile Slider の設定にしたがって表示します。

Layout - General

Enable Personal Settings: ネットワークカメラのホームページのレイアウトを変更するには、このチェックボックスをオンにします。

Personal Settings

各項目の左側にあるチェックボックスをオンにすると、ホームページに設定が反映されます。ユーザ独自の設定を有効にするには右側のオプションボタンで [Own] をクリックし、値を選択または入力します。

Background Color: 背景色を選択します。リストボックスから背景に使用する色を選択します。

Text Color: 文字色を選択します。リストボックスから文字に使用する色を選択します。

Background Picture: 背景に使用する画像を指定します。背景に使用する画像を、URL で指定します。

Title: 画像の上に表示するタイトル文字を入力します。画像のタイトル文字を半角文字 100 文字までで入力します。

Logo: 表示するロゴ（JPEG または GIF）を指定します。ロゴに使用する画像を、URL で指定します。

Logo Link: ホームページ上のロゴから別のサイトへのリンクを貼ることができます。リンク先の URL を指定します。

Description: 画像の下に表示する説明文を半角文字 100 文字までで入力します。

Show PTZ Controls: このオプションは日本ではサポートしていません。

Digital Output: ホームページ上でデジタル出力のステータスを管理します。[Text] フィールドに入力した文字はボタンの上に表示されます。[Buttons] フィールドに入力した文字はボタン上に表示されます。

Show Admin Button: ホームページに [Admin] ボタンを表示します。

-
- 注意!**
- Title および Description は、半角文字 100 文字以内で指定してください。
 - Show Admin Button のチェックをオフにすると、ネットワークカメラのホームページから Administration Tools にアクセスできなくなります。このような場合は、Web ブラウザの [アドレス] フィールドに以下のアドレスを入力して Administration Tools にアクセスしてください。

例: <http://ネットワークカメラのIPアドレスまたはホスト名/admin/admin.shtml>

[Preview] ボタン [Preview] ボタンをクリックすると、[Own] を選択して変更した結果を画面で確認することができます。

[Save] ボタン [Save] ボタンをクリックして、設定の変更を保存します。

Wizards

Installation

Installation Wizard を起動します。

Application

Application Wizard を起動します。

Support - General

Troubleshoot and Upgrade

この内容は英語で提供されます。
トラブルシューティング、ファームウェアの更新など、最新の情報を得るには Axis のホームページへアクセスしてください。
<http://www.axiscom.co.jp/>

AXIS Online Services

この内容は英語で提供されます。
製品についての情報は、Axis のホームページで入手することができます。
<http://www.axiscom.co.jp/>

Server Report

ネットワークカメラのログファイルを表示します。ネットワークカメラにインストールされているファームウェアのバージョンが表示されます。

Contact Information

この内容は英語で提供されます。

Support - Release Notes

ファームウェアのリリースノートが表示されます。

Support - Parameters

パラメータリストが表示されます。

Support - Log File

ログファイルが表示されます。

Support - Restart/Reset

[Restart] ボタン ネットワークカメラを再起動します。

注意! ネットワークカメラを再起動すると、ログが初期化されます。

[Factory Default] ボタン 工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

Support - About

この内容は英語で提供されます。

Help

英語版のオンラインヘルプを表示します。

Live View

ネットワークカメラのホームページを表示します。

* 補足資料に記載のプログラム、規格などの商品名、および製品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

AXIS 2420 ネットワークカメラユーザズマニュアル

補足資料

Copyright © アクシスコミュニケーションズ株式会社、2003

第 1 版

2003 年 4 月発行

CA-021